

2017年度一般財団法人橋本財団福祉助成事業

第47回 岡山県自閉症協会セミナー

平成30年度 総会記念講演会

日 時 : 平成30年5月27日(日) 14:30 ~ 16:30 (開場 14:00)

会 場 : きらめきプラザ 301会議室 (定員 200名)
(岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館)
岡山市北区南方2丁目13-1

参加費 : 会員 500円 一般 1000円

※ 公共の交通機関を利用してご来場くださいますようお願いください。

『障害を持つ息子へ

～ 息子よ。そのままで、いい。～』

講師：神戸 金史 氏

(RKB毎日放送 報道制作局次長 兼 東京報道部長)

神戸氏は、自閉症の子どもを持つ父親です。毎日新聞時代には自閉症児の父親の立場からコラムを連載したり、RKB毎日放送(本社・福岡市)に転職後は新聞連載を映像化したドキュメンタリー番組を制作し賞を受賞するなど、自閉症を取り巻く家庭内や社会の様々な問題を積極的に情報発信してこられました。長男の金佑(かねすけ)さんを日本自閉症協会の啓発ポスターやDVDでご覧になった方もきっと多いはずです。

相模原での事件の直後に神戸氏が発したメッセージは瞬く間に全国へ広がり、障害児者を抱える多くの家族や支援者を勇気づけました。今回の講演では、我が子の自閉症という障害にこれまでどのように向き合い、思い悩み、そして受け入れてきたのか、19年間の子育てをふり返り、父親としてジャーナリストとして、親はもちろんのこと家族や支援者、そして社会に向けてその熱い思いをお話いただく予定です。

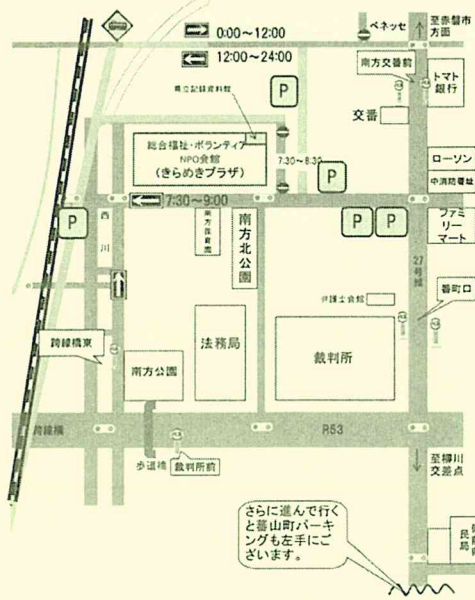
《講師紹介》 神戸 金史(かんべ かねぶみ)

- ・1967年、群馬県下仁田町生まれ。県立高崎高校、早稲田大学第一文学部卒業。
- ・1991年、毎日新聞に入社。2004年、自閉症児の父親の立場からコラム「記者の目」を執筆、『うちの子 自閉症児とその家族』を連載した。
- ・2005年、RKB毎日放送に転職。新聞連載を映像化したドキュメンタリー『うちの子 自閉症という障害を持って』で、JNNネットワーク大賞を受賞。
- ・2016年7月、相模原での障害者殺傷事件の直後にフェイスブックに投稿した個人的なメッセージが反響を呼ぶ。事件3か月後の10月、自らの家族の歩みと自閉症児の家族への取材を綴った『障害を持つ息子へ』(ブクマン社)を出版した。

主 催 : NPO法人 岡山県自閉症協会

共 催 : おかやま発達障害者支援センター

後 援 : 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、倉敷市、倉敷市教育委員会、津山市教育委員会、総社市教育委員会



※ 公共の交通機関を利用してご来場ください。本セミナー用の駐車枠は大変少ないため、お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

【申込み】

- 申込み用紙にて、5月24日（木）までに下記事務局までお申込みください。
（FAX か郵送、メールのいずれでも結構です）
- なお、定員に達した場合には申込みを締め切らせていただく場合があります。
- 会場の座席に余裕がある場合には、当日参加も可能です。

託 児： 定員10名（先着順 原則1家族1名）、対象児は小学校高学年まで。費用は無料。
お申込みは、4月12日（木）～5月18日（金）までに電話で下記事務局まで。

【問い合わせ・申込み先】 NPO法人 岡山県自閉症協会事務局
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ2F
TEL (086) 801-4010 (月・火・木・金 10:00~15:00)
FAX (086) 801-4030 (終日可)
E-mail: asj-okayama@kirameki-plz.com (終日可)

平成30年度総会記念講演会 参加申込み用紙

(FAXか郵送、メールでお申込み下さい)

ふりがな			
お名前			
連絡先 □自宅 □勤務先	電話 () —	FAX () —	お住まい 市 町 村
所属			
岡山県自閉症協会会員ですか？			
はい		いいえ	
【当てはまるものを○で囲んでください】 正会員（子ども、青少年、成人、専門） 賛助会員 ・ 賛助団体		【当てはまるものを○で囲んでください】 自閉症ご本人 ・ 保護者 ・ 福祉関係者 教育関係者 ・ 医療関係者 その他 ()	

*受講票は発行いたしませんのでご了承ください。

*お申込みが入場定員を超えた場合のみ、ご参加いただけない旨をご連絡します。